

「初めて出会う計算 たしざんとひきざん」

～さんすうって楽しい～

単発講座

前回の講座「学びはじめの算数」では、数えるとはどういうことか、「数が分かる」とは子どもの中で何が作られていけばよいのか、をお話しました。

今回は、子どもたちが生まれて初めて出会う「計算」の世界へご案内します。

「何と何なら足してよいのか」「何から何を引いてよいのか」、「足し算、引き算のイメージ」が感覚的でもよいので、つかめるようになってほしいです。

理屈を言葉で表すには、この時期の子どもたちはまだ幼いのです。まずは身体を使って教具(主にタイルや身の回りの物)を動かし、イメージを作っていきたいです。

この講座は、「どうやって上手に速く計算するか」という大人目線ではなく、「たしざんひきざんとは何なのか」を子どもの身体で学んでいきます。

「たしざんひきざんに指を使ってしまいます」
「繰り上がり、繰り下がりができません」、
そんなお悩みもよくお聞きします。これらについてのお話もしていきます。

ただ、「目に見える成果」「テストで良い点を取る」を目標とされるかたにはちょっと物足りないお話かもしれません。
子どもたちの、この先何年にも渡る「勉強の時間」をその子にとって本当に実りあるものにしたいな…と思われるかたに聴いていただけたら嬉しいです。

内容については特に難しい話は出てきません。ゲームやパズルもお見せします。気軽に聴いてくださいね(´▽`)



担当講師プロフィール

○田中恭子

東郷町在住。数学で育ちあう会 所属

水道方式で算数と数学を教えて25年になります。水道方式の素晴らしさを伝えたくて「お母さんの算数教室」と各地で開いてきました。算数・数学学習は「考える力」を育てるものでありたいと考えています。

○高須かおり

岡崎市在住。本講座サポートメンバー（そらいろスキップ）。

現在、水道方式の算数教室に学ぶ小4の息子がいます。

「さんすう、嫌い、苦手」だった息子が、「さんすうできる、わかるよ!」と笑顔で取り組む姿が大好きです。

日時/ 2022年1月12日(水) 10時～12時

場所/ 岡崎市友愛の家(福祉の村内) 1階第2活動室

〒444-0011 岡崎市欠町字清水田6-3

<https://fukushi-okazaki.jp/yuuainoie/>

対象/ 発達に特性のある幼児・小学生の保護者、放課後等デイ支援員、園児・小学生の支援に関わる方、教員等

定員/ 10名(先着順) 受講料/ 50円 持ち物/ 筆記用具

募集開始日/ 12月8日(水)

*講座を受講されるかたは、友愛の家利用登録書のご記入をお願いしております。

お申し込み、お問い合わせ

友愛の家

電話 (0564) 21-8077

FAX (0564) 64-7999

E-mail: yuai@okazaki-fukushi.or.jp